

芸術地域デザイン学部におけるキャリアガイダンスの実施方法及び教育・指導内容

(平成28年3月16日)

芸術地域デザイン学部は、「佐賀大学キャリアガイダンス実施方針」(平成23年1月14日副学長決定)に基づき、本学部の学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うことを目的として、以下の実施方法及び教育・指導内容をもって、キャリアガイダンス(社会的・職業的自立に関する指導等)を実施する。

1. 実施の方法

- 1 本学部のキャリアガイダンスは、下表の段階ごとに正課教育と正課外教育及び指導に区分した教育・指導内容をもって実施する。
- 2 キャリアガイダンスの教育・指導は、学務関係委員長会議の責任の下に計画・実施・改善を行う。
- 3 正課教育は、主に教務委員会の責任の下に、各コースの教育目的に応じて立案し実行する。
- 4 正課外教育及び指導は、主に就職委員会の責任の下に、各コースの教育目的に応じて立案・実行する。
- 5 各年次にチューターを配置し、各学生の履修した教育・指導内容を確認しつつ、指導を行う。
- 6 各教員は、それぞれの授業科目に応じたキャリアガイダンスを実施するとともに教育内容の充実に務める。
- 7 就職委員会は、キャリアセンターの協力の下に、学生の就業力向上のための環境保全に努める。

2. 教育・指導内容

段階	正課教育	正課外教育及び指導
I	<p>○大学入門科目において、将来像を念頭に4年間の履修計画を立てさせるとともに、キャリアセンターと協力してキャリアデザイン入門関連の講義をする。</p> <p>○学部共通科目「職業キャリア論」において、専門分野における将来の職業像を明確に意識させる。</p> <p>○キャリアセンターと協力して全学教育機構において基本教養</p>	<p>○新生オリエンテーションにおいて専門分野に関わる就職先や就職状況を把握させる。</p>

	科目にキャリアデザイン関連科目を開講し、就業力を身につけさせる。	
II	○コースごとに設けるコース基礎科目（「美術品流通論」、「コミュニティビジネス」、「社会政策」等）において、それぞれの専門分野と社会とのつながりを学ばせ、専門知識の社会的な意義を意識させる。	○過年次生オリエンテーションにおいて、専門分野に関する資格や就業内容についての知識を身につけさせる。 ○キャリアセンター主催の各種「就職対策講座」によって、各様資格の内容や就職活動についての知識・技能を身につけさせる。
III	○各コースの専門科目を通じて、専門分野で自立するための知識・技能を意識させる。 ○学部共通科目（「有田キャンパスプロジェクト」、「地域創生フィールドワーク」、「国内外芸術研修」）、専門ごとの演習・実習等において、必要な専門知識の習得方法を身につけさせるとともに、プレゼンテーションの技能を学ばせる。 ○卒業研究のなかで、専門分野で自立するための問題発見・解決の方途を学ばせる。	○卒業研究説明会において、卒業研究の方法とともに就職活動方法についての知識を身につけさせる。 ○キャリアセンター主催の各種「就職ガイダンス」によって、就職活動方法についての知識を身につけさせる。 ○インターンシップへの参加を促し、専門分野に関する就業内容についての知識を身につけさせる。